

平成21年度国民医療費の概況(本文) 正誤表

		誤	正
報道発表資料	【結果のポイント】 2段落目	制度区分別にみると、「医療保険等給付分」は17兆3,368億円(制度全体に占める割合48.1%)、「後期高齢者医療給付分」は11兆307億円(同30.6%)、「公費負担医療給付分」は2兆4,601億円(同6.8%)、「患者負担分」は4兆9928億円(同13.9%)、「患者負担分の軽減特例措置」は1,864億円(同0.5%)となっている。	制度区分別にみると、「医療保険等給付分」は17兆3,368億円(制度全体に占める割合48.1%)、「後期高齢者医療給付分」は11兆307億円(同30.6%)、「公費負担医療給付分」は2兆4,623億円(同6.8%)、「患者負担分」は4兆9,905億円(同13.9%)、「患者負担分の軽減特例措置」は1,864億円(同0.5%)となっている。
	【結果のポイント】 3段落目	財源別にみると、公費のうち「国庫」は9兆1,271億円(財源全体に占める割合25.3%)、「地方」は4兆3,662億円(同12.1%)。また保険料のうち「事業主」は7兆3,211億円(同20.3%)、「被保険者」は10兆1,821億円(同28.3%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆9,928億円(同13.9%)となっている。	財源別にみると、公費のうち「国庫」は9兆1,287億円(財源全体に占める割合25.4%)、「地方」は4兆3,668億円(同12.1%)。また保険料のうち「事業主」は7兆3,211億円(同20.3%)、「被保険者」は10兆1,821億円(同28.3%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆9,905億円(同13.9%)となっている。
国民医療費の概況	P.4 2 制度区分別国民医療費	制度区分別にみると、医療保険等給付分は17兆3368億円(構成割合48.1%)、後期高齢者医療給付分は11兆307億円(30.6%)、公費負担医療給付分は2兆4601億円(6.8%)となっている。また、患者負担分は4兆9928億円(13.9%)となっている。	制度区分別にみると、医療保険等給付分は17兆3368億円(構成割合48.1%)、後期高齢者医療給付分は11兆307億円(30.6%)、公費負担医療給付分は2兆4623億円(6.8%)となっている。また、患者負担分は4兆9905億円(13.9%)となっている。
		対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は5.5%の増加、医療保険等給付分は2.3%の増加、後期高齢者医療給付分は5.8%の増加、患者負担分は1.6%の増加、軽減特例措置は2.8%の増加となっている。	対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は5.6%の増加、医療保険等給付分は2.3%の増加、後期高齢者医療給付分は5.8%の増加、患者負担分は1.6%の増加、軽減特例措置は2.8%の増加となっている。
	P.4 3 財源別国民医療費	財源別にみると、公費分は13兆4933億円(37.5%)、うち国庫は9兆1271億円(25.3%)、地方は4兆3662億円(12.1%)となっている。保険料分は17兆5032億円(48.6%)、うち事業主は7兆3211億円(20.3%)、被保険者は10兆1821億円(28.3%)となっている。また、その他は5兆102億円(13.9%)、うち患者負担は4兆9928億円(13.9%)となっている。	財源別にみると、公費分は13兆4955億円(37.5%)、うち国庫は9兆1287億円(25.4%)、地方は4兆3668億円(12.1%)となっている。保険料分は17兆5032億円(48.6%)、うち事業主は7兆3211億円(20.3%)、被保険者は10兆1821億円(28.3%)となっている。また、その他は5兆80億円(13.9%)、うち患者負担は4兆9905億円(13.9%)となっている。

平成22年度国民医療費の概況(本文) 正誤表

		誤	正
報道発表資料	【結果のポイント】 2段落目	制度区分別にみると、「医療保険等給付分」は17兆8,950億円(制度全体に占める割合47.8%)、「後期高齢者医療給付分」は11兆6,876億円(同31.2%)、「公費負担医療給付分」は2兆6,353億円(同7.0%)、「患者等負担分」は5兆151億円(同13.4%)、「患者負担分の軽減特例措置」は1,872億円(同0.5%)となっている。	制度区分別にみると、「医療保険等給付分」は17兆8,950億円(制度全体に占める割合47.8%)、「後期高齢者医療給付分」は11兆6,876億円(同31.2%)、「公費負担医療給付分」は2兆6,447億円(同7.1%)、「患者等負担分」は5兆103億円(同13.4%)、「患者負担分の軽減特例措置」は1,826億円(同0.5%)となっている。
	【結果のポイント】 3段落目	財源別にみると、公費のうち「国庫」は9兆7,037億円(財源全体に占める割合25.9%)、「地方」は4兆5,525億円(同12.2%)。また保険料のうち「事業主」は7兆5,380億円(同20.1%)、「被保険者」は10兆5,939億円(同28.3%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆7,573億円(同12.7%)となっている。	財源別にみると、公費のうち「国庫」は9兆7,038億円(財源全体に占める割合25.9%)、「地方」は4兆5,572億円(同12.2%)。また保険料のうち「事業主」は7兆5,380億円(同20.1%)、「被保険者」は10兆5,939億円(同28.3%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆7,525億円(同12.7%)となっている。
国民医療費の概況	P.4 2 制度区分別国民医療費	制度区分別にみると、医療保険等給付分は17兆8950億円(構成割合47.8%)、後期高齢者医療給付分は11兆6876億円(31.2%)、公費負担医療給付分は2兆6353億円(7.0%)となっている。また、患者等負担分は5兆151億円(13.4%)、軽減特例措置は1872億円(0.5%)となっている。	制度区分別にみると、医療保険等給付分は17兆8950億円(構成割合47.8%)、後期高齢者医療給付分は11兆6876億円(31.2%)、公費負担医療給付分は2兆6447億円(7.1%)となっている。また、患者等負担分は5兆103億円(13.4%)、軽減特例措置は1826億円(0.5%)となっている。
		対前年度増減率をみると、医療保険等給付分は3.2%の増加、後期高齢者医療給付分は6.0%の増加、公費負担医療給付分は7.1%の増加、患者等負担分は0.4%の増加、軽減特例措置は0.4%の増加となっている。	対前年度増減率をみると、医療保険等給付分は3.2%の増加、後期高齢者医療給付分は6.0%の増加、公費負担医療給付分は7.4%の増加、患者等負担分は0.4%の増加、軽減特例措置は2.0%の減少となっている。
	P.4 3 財源別国民医療費	財源別にみると、公費分は14兆2562億円(38.1%)、うち国庫は9兆7037億円(25.9%)、地方は4兆5525億円(12.2%)となっている。保険料分は18兆1319億円(48.5%)、うち事業主は7兆5380億円(20.1%)、被保険者は10兆5939億円(28.3%)となっている。また、その他は5兆322億円(13.4%)、うち患者負担は4兆7573億円(12.7%)となっている。	財源別にみると、公費分は14兆2610億円(38.1%)、うち国庫は9兆7038億円(25.9%)、地方は4兆5572億円(12.2%)となっている。保険料分は18兆1319億円(48.5%)、うち事業主は7兆5380億円(20.1%)、被保険者は10兆5939億円(28.3%)となっている。また、その他は5兆274億円(13.4%)、うち患者負担は4兆7525億円(12.7%)となっている。

平成23年度国民医療費の概況(本文) 正誤表

		誤	正
報道発表資料	【結果のポイント】 2段落目	制度区分別にみると、「公費負担医療給付分」は2兆7,931億円(制度全体に占める割合7.2%)、「医療保険等給付分」は18兆3,360億円(同47.5%)、「後期高齢者医療給付分」は12兆2,533億円(同31.8%)、「患者等負担分」は5兆85億円(同13.0%)となっている。	制度区分別にみると、「公費負担医療給付分」は2兆8,022億円(制度全体に占める割合7.3%)、「医療保険等給付分」は18兆3,360億円(同47.5%)、「後期高齢者医療給付分」は12兆2,533億円(同31.8%)、「患者等負担分」は5兆44億円(同13.0%)となっている。
	【結果のポイント】 3段落目	財源別にみると、公費のうち「国庫」は10兆307億円(財源全体に占める割合26.0%)、「地方」は4兆7,772億円(同12.4%)。また保険料のうち「事業主」は7兆7,964億円(同20.2%)、「被保険者」は10兆9,555億円(同28.4%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆7,416億円(同12.3%)となっている。	財源別にみると、公費のうち「国庫」は10兆303億円(財源全体に占める割合26.0%)、「地方」は4兆7,817億円(同12.4%)。また保険料のうち「事業主」は7兆7,964億円(同20.2%)、「被保険者」は10兆9,555億円(同28.4%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆7,375億円(同12.3%)となっている。
国民医療費の概況	P.4 2 制度区分別国民医療費	制度区分別にみると、公費負担医療給付分は2兆7,931億円(構成割合7.2%)、医療保険等給付分は18兆3,360億円(同47.5%)、後期高齢者医療給付分は12兆2,533億円(同31.8%)、患者等負担分は5兆85億円(同13.0%)、軽減特例措置は1,941億円(同0.5%)となっている。	制度区分別にみると、公費負担医療給付分は2兆8,022億円(構成割合7.3%)、医療保険等給付分は18兆3,360億円(同47.5%)、後期高齢者医療給付分は12兆2,533億円(同31.8%)、患者等負担分は5兆44億円(同13.0%)、軽減特例措置は1,891億円(同0.5%)となっている。
		対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は6.0%の増加、医療保険等給付分は2.5%の増加、後期高齢者医療給付分は4.8%の増加、患者等負担分は0.1%の減少、軽減特例措置は3.7%の増加となっている。	対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は6.0%の増加、医療保険等給付分は2.5%の増加、後期高齢者医療給付分は4.8%の増加、患者等負担分は0.1%の減少、軽減特例措置は3.6%の増加となっている。
	P.4 3 財源別国民医療費	財源別にみると、公費は14兆8,079億円(構成割合38.4%)、うち国庫は10兆307億円(同26.0%)、地方は4兆7,772億円(同12.4%)となっている。保険料は18兆7,518億円(同48.6%)、うち事業主は7兆7,964億円(同20.2%)、被保険者は10兆9,555億円(同28.4%)となっている。また、その他は5兆252億円(同13.0%)、うち患者負担は4兆7,416億円(同12.3%)となっている。	財源別にみると、公費は14兆8,120億円(構成割合38.4%)、うち国庫は10兆303億円(同26.0%)、地方は4兆7,817億円(同12.4%)となっている。保険料は18兆7,518億円(同48.6%)、うち事業主は7兆7,964億円(同20.2%)、被保険者は10兆9,555億円(同28.4%)となっている。また、その他は5兆212億円(同13.0%)、うち患者負担は4兆7,375億円(同12.3%)となっている。

平成24年度国民医療費の概況(本文) 正誤表

		誤	正
報道発表資料	【結果のポイント】 2段落目	制度区分別にみると、「公費負担医療給付分」は2兆8,836億円(制度全体に占める割合7.4%)、「医療保険等給付分」は18兆5,826億円(同47.4%)、「後期高齢者医療給付分」は12兆6,209億円(同32.2%)、「患者等負担分」は4兆9,296億円(同12.6%)となっている。	制度区分別にみると、「公費負担医療給付分」は2兆8,925億円(制度全体に占める割合7.4%)、「医療保険等給付分」は18兆5,826億円(同47.4%)、「後期高齢者医療給付分」は12兆6,209億円(同32.2%)、「患者等負担分」は4兆9,255億円(同12.6%)となっている。
	【結果のポイント】 3段落目	財源別にみると、公費のうち「国庫」は10兆1,138億円(財源全体に占める割合25.8%)、「地方」は5兆321億円(同12.8%)。また保険料のうち「事業主」は7兆9,427億円(同20.3%)、「被保険者」は11兆1,776億円(同28.5%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆6,619億円(同11.9%)となっている。	財源別にみると、公費のうち「国庫」は10兆1,134億円(財源全体に占める割合25.8%)、「地方」は5兆366億円(同12.8%)。また保険料のうち「事業主」は7兆9,427億円(同20.3%)、「被保険者」は11兆1,776億円(同28.5%)。さらに、その他のうち「患者負担」は4兆6,579億円(同11.9%)となっている。
国民医療費の概況	P.4 2 制度区分別国民医療費	制度区分別にみると、公費負担医療給付分は2兆8,836億円(構成割合7.4%)、医療保険等給付分は18兆5,826億円(同47.4%)、後期高齢者医療給付分は12兆6,209億円(同32.2%)、患者等負担分は4兆9,296億円(同12.6%)となっている。	制度区分別にみると、公費負担医療給付分は2兆8,925億円(構成割合7.4%)、医療保険等給付分は18兆5,826億円(同47.4%)、後期高齢者医療給付分は12兆6,209億円(同32.2%)、患者等負担分は4兆9,255億円(同12.6%)となっている。
	P.4 3 財源別国民医療費	財源別にみると、公費は15兆1,459億円(構成割合38.6%)、うち国庫は10兆1,138億円(同25.8%)、地方は5兆321億円(同12.8%)となっている。保険料は19兆1,203億円(同48.8%)、うち事業主は7兆9,427億円(同20.3%)、被保険者は11兆1,776億円(同28.5%)となっている。また、その他は4兆9,455億円(同12.6%)、うち患者負担は4兆6,619億円(同11.9%)となっている。	財源別にみると、公費は15兆1,500億円(構成割合38.6%)、うち国庫は10兆1,134億円(同25.8%)、地方は5兆366億円(同12.8%)となっている。保険料は19兆1,203億円(同48.8%)、うち事業主は7兆9,427億円(同20.3%)、被保険者は11兆1,776億円(同28.5%)となっている。また、その他は4兆9,414億円(同12.6%)、うち患者負担は4兆6,579億円(同11.9%)となっている。